

城星学園小学校 全校保護者会



I 小学校副校長、小学校新任教職員のご紹介

II 2024年度「ストレンナ」について

ドン・ボスコの夢 わたしたちの夢 ~9歳の夢から200年~

※ スtrenナ とは：イタリア語で「贈りもの」。ドン・ボスコの時代からの習慣で、新年にサレジオ会総長が「サレジオ家族年間目標」として発表しています。

【夢に示される予防教育の3本柱】

- ・「げんこつはいけない。強制的・力ずくのやり方はいけません。」 → 道理
- ・「柔和と愛をもって友達になりなさい。」 → 愛情
- ・「罪がどんなに醜いか、徳がどんなに尊いか、教えてあげなさい。」 → カトリックの価値観



III コロナがあけて

- ・心と学びの根っこづくりと 響き合い
- ・ICT教育の模索
- ・宿泊学習の実施：3年生以上（3・4年生は1泊2日、5・6年生は2泊3日）
 - * 「参加同意書」の提出が必要です。（実施日が近づいてきましたら、学年より配付します。）
 - * 現地で発熱や体調不良を訴えられた場合、現地まで保護者さまのお迎えをお願いします。
- ・月曜日：「Jesus day」… 祈りの日、「みことば朝会」の実施
- ・金曜日：運動場での「外朝会」実施 … 運動場整列 8:30
- ・「朝遊び」再開 … 8時から8時15分
- ・校時表の変更（別紙ご参照ください）… 始業、終業時刻は変更なし

～ 裏面に 2024 スtrenナ と 2024 年度 小学校教育目標を掲載しております。～

・新校舎工事開始に際して

① 西側靴箱、昇降口を使用しない。

② 2024年12月頃～ 学童保育「オラトリオ」場所変更→東館(3年生棟)2階へ

IV 児童指導部より

① 登下校送迎・下校途中の習いごと について

※ 原則、下校途中に児童だけで塾や習い事に直行しない。(サンタマリアスイミング除く)

② 送迎時のルール(特に自家用車送迎の際)を厳守ください。(学校生活のしおりP,13参照)

③ 児童の携帯電話の所持について (学校生活のしおりP,12参照)

「携帯電話所持に関する同意書」を提出必要。…本日、児童に配付。

原則、使用は緊急時のみ。保護者の責任・指導のもと、所持を認めています。

④ (児童・保護者) SNS 利用について

児童の SNS 利用については、家庭での話し合いの上、ルール決定することが大切。

1 明確で具体的なルール設定 … 使用する時間・場所 など

PWを勝手に変えない、個人情報を守るとは?、約束を破った場合は? …など

事前に、具体的に話し合ってから使用させる。

2 保護者の管理 と 定期的なチェック … フィルター設定 + 保護者チェックを!必ずお願いします。

【保護者さまの SNS 利用について】 ～城星学園小学校保護者としての品位を保つ～

*著作権へもご配慮ください。

(個人情報保護の観点より)

1 学校サイト内に掲載された写真の転用・複写禁止

2 行事写真(保護者様撮影分含む)のインターネット上への掲載・利用の禁止

データを家族以外へメール添付などによる送信の禁止

3 参観時の撮影禁止

(児童が映っていない場合も含みます。構内では、基本的に撮影禁止です。)

※ 本日の引き渡し訓練について

V 保健関係 (養護教諭より)

① 「登校許可証」提出について

② 熱中症防止対策について

③ 体育学習時、検診時の服装等について

④ 昼食時用エプロンについて

※③について、保護者 HP 学園だよりページに詳細を掲載しております。ご確認ください。

以上

～本年度も 教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。～

ストレンナ 2024



“The dream that makes you dream”

A heart that transforms “wolves”

Into “lams”

今年 2024 年は、少年ジョヴァンニ・ボスコ、われらがドン・ボスコが夢を見てから 200 年の節目を迎えます。それは、世界中のサレジオ家族が「9 歳の時の夢」として大変親しく知るようになった夢です。

そして、「ドン・ボスコの生き方、考え方全体を条件づけ、特に、一人ひとりの人生における、そして世界の歴史における神の現存をどのように感じるかを条件づけた」夢の 200 周年は、今度のストレンナの中心テーマにふさわしいと私には思われます。全サレジオ家族における年間の司牧的歩みを、また、サレジオ世界のあらゆるところで行われている多くの教育的取り組みや、多くの社会的、福音宣教的活動を導くテーマとして、私たちの父のうちに聖霊が興してくださったこの大いなる家族のために、ふさわしいと思います。

サレジオ会総長 アンヘル・フェルナンデス・アルティメ枢機卿

2024 年度 小学校教育目標

「心と学びの根っこ」づくりから「響き合い」へ

2020 年度は、教育改革の年にあたり、①知識及び技能の習得②思考力、判断力、表現力等の育成③学びに向かう力、人間性の涵養を踏まえ、自ら問題を発見し、主体的に考え、答えのない問題に挑み、他と協力して解決できる力の育成を目指し、「心と学びの根っこを育てる」ことをテーマに子どもの成長を追いかけてきました。歩みを進める中で、カトリックミッションスクールとしての存在意義を深め、「心の教育」に努めながら、「学び」の基本に「かくこと」を据えた教育のスタイルが本校の特徴であることも確信しました。

2021 年度は、度重なるコロナ禍による新しい生活スタイルや学習スタイルの定着を経て、Zoom や動画配信による新しい学びの形が確立されました。一方で、集団を中心とする学びや遊びが育む人間力の低下が否めない中、私たちが培ってきた一人ひとりを大切にするアナログの学びが力を発揮しています。神様の善さを映す鏡となり、自分を研ぎ澄まし、互いに信頼関係を深め、相手を尊重し、助け合い、励まし合いながら互いに高め合う子どもたちの育成に努めました。

2022 年度、聖フランシスコ・サレジオとドン・ボスコの心を再確認し、ドン・ボスコの教育法の原点に立ち返り、愛と柔和をもって心の教育を実践してまいりました。子どもたちの発達段階に応じた成長を信じ、たく逞しく育った「心と学びの根っこ」で培われたものを大切に、愛情あふれる言動を柱に教育にあたってまいりました。

2023 年度、子どもたちが、自ら問題を発見し、主体的に考え、他と協力して解決することができる力の育成を目指していきましょう。具体的な取り組みの中で、私たちが真の学力と考える「見えない学力」の育成にさらに力を入れていきたいと思えます。また、家族的精神あふれる中で、子どもたちや保護者との間の深い信頼関係、「響き合う」関係に裏付けられた「心と学びの根っこ」づくりに励んでまいりましょう。

2024 年度、さらに「響き合う」関係に裏付けられた「心と学びの根っこ」づくりに取り組みましょう。教材や学習形態の工夫、ICT 機器の活用等を取り入れながら、神様、両親からいただいた五感を精一杯活用させましょう。